


アーティスト名 団体名	古川 元章	
代表者名	古川 元章	
ジャンル	伝統芸能（雅楽）	
公式HP		
プロフィール 活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 天理大学の雅楽部に所属。所属時代は、中国、韓国、ベトナム、ロシアで海外演奏をした。日本の各地域でも演奏をした。 ○ 卒業後は、不定期でホテル、神社等で演奏をしている。 	
苫小牧市との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 啓明中学校を卒業 	
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本古来の伝統芸能「雅楽」の魅力を多くの方に知ってほしいです。 	
その他		

【お問合せ先】 苫小牧市教育委員会 生涯学習課 TEL0144-32-6756

雅楽について

●雅楽とは？

今日、日本でいう雅楽は、古来より日本人が培ってきた音楽と、アジア各地で生まれ育ち、約 1400 年前ごろより日本に伝えられた音楽とが融合し、平安時代（西暦 800 年ごろ）に整えられたものをいいます。その後、主に宮廷でのお祭りや貴族のたしなみ、寺院や神社での儀式に取り入れられ、受け継がれてきました。

広い意味での雅楽には、管絃と舞楽、国風歌舞、謡物の三種があります。

管絃は、鳳笙（ほうしょう）、篳篥（ひちりき）、龍笛（りゅうてき）の 3 種類の管楽器（三管）と琵琶（びわ）、箏（そう）の 2 種類の弦楽器（両弦）、鞆鼓（かっこ）、太鼓（たいこ）、鉦鼓（しょうこ）の 3 種類（三鼓）を用いて演奏します。

●楽器紹介【三管】

・篳篥（ひちりき）

表に 7 つ、裏に 2 つの指孔のある竹管に、葦でつくったリードを差し込んで吹きます。オーボエと同じダブルリードの縦笛。合奏では主旋律を奏で、「メリ」や「塩梅（えんばい）」と呼ばれる奏法により、指孔を押さえる指を変えることなく、口内の容積を変えたり、息づかいの強弱によって音を変化させることができます。

・龍笛（りゅうてき）

神楽笛、龍笛、高麗笛と雅楽で使われる横笛は現在 3 種類あり、龍笛は長さ約 40cm。竹製で、歌口の他に 7 つの指孔があり、頭部は別の竹を継ぎ足して、中におもりを入れ、裏には「せみ」と呼ばれる装飾が施されている。息の使い方によって、同じ指孔で 1 オクターブ違う音を出すことができ、音域が広いのが特徴。

・鳳笙（ほうしょう）

天に立ち昇るような透き通った音色が特徴。桜か檜材で作った頭に、リードのついた竹管が差し込まれており、頭の吹き口を吹いたり吸ったりして鳴らす。合奏では、主に和音を奏で、全体の曲の流れをリードする役目を受け持つ。

雅楽鑑賞会(4・5・6年生)より
〈平成22年8月24日〉



↑ 楽器の名前 … 左から「龍笛(りゅうてき)」、「箏(そう)」、「篳篥(ひちりき)」、
「鞆鼓(かっこ)」、「笙(しょう)」





雅楽の演奏の様子



「越殿楽(えてんらく)」を演奏に合わせて歌いました